

2026年度 日本学生支援機構 大学院 奨学金申込について （第一種・第二種奨学金 予約採用）

奨学金の申込みには、①から③の手続きが必要です。それぞれの期限までに手続や書類提出が完了しない者は、申込みを辞退したものととして取扱います。

①スカラネット入力（インターネット申込） 提出期限 10/22（金）

以下の識別番号により申込サイト（スカラネット）から、スカラネット入力下書き用紙に記入した内容を入力してください。（入力可能時間 8:00~25:00【土日含む】）

識別番号	ユーザ ID(半角数字)	107001	
	パスワード(半角英数)	gcfr7k37	英字はすべて小文字

②申込書類の提出（該当者のみ） 提出期限 10/22（金）

以下に該当する場合は、書類をそろえて提出してください。

事 項	提 出 書 類
申込者（学生）本人が進学前離職の特例措置に該当する	日本学生支援機構HP（QRコード）から奨学金案内P.25を確認のうえ、必要書類を提出してください。 
申込者（学生）本人が外国籍	
申込者（学生）本人・配偶者がマイナンバーを提出できない	
申込者（学生）本人・配偶者が海外に居住している	

③マイナンバー提出書の郵送 提出期限 スカラネット入力後 1 週間以内

スカラネット入力完了後 1 週間以内に、日本学生支援機構へ送付してください。（紫色封筒参照）

【申込完了後の流れ（予定）】

・採用候補者決定通知の受け取り（1月上旬頃）

採用候補決定者へは、日本学生支援機構から大学に「採用候補者決定通知」が届きます。届き次第連絡しますので、奨学係（米子地区は学務課学生係）窓口で受け取ってください。

・進学届の提出（4月上旬頃）

本学大学院へ進学後にインターネットで進学届の提出をします（進学届の提出がない場合・他大学大学院へ進学する場合は奨学生として採用されません）。詳細は採用候補者決定通知の交付時にお知らせします。

・採用決定、返還誓約書の提出（5月）

進学届の提出後、登録口座に奨学金が振り込まれます。採用者には、奨学生証と返還誓約書を配付します。（配付の際は、大学から連絡します。）

返還誓約書は、必要事項を記入のうえ、証明書類を添えて提出をしていただきます。

～修士（博士前期課程）進学予定で第一種奨学金を希望する方～

特に優れた業績による返還免除の「内定制度」のご案内

大学院第一種奨学金には、大学院で特に優れた業績を挙げた者に対し、奨学金の返還を免除(全額または半額)する「特に優れた業績による返還免除」制度がありますが、本制度は、その決定を、修士（博士前期）課程進学時に内定する制度です。希望者は以下の内容を確認のうえ申込みをしてください。

【対象要件】以下の全てに該当する方

- ①大学学部等において修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金)を利用している者(※1)または住民税非課税世帯である者(※2)
 - (※1) 本制度推薦時点で、支援区分が第Ⅰ～Ⅳ区分又は、多子世帯（支援区分は問わない）のいずれかの者です。また、資産超過により停止となっている者は対象外となります。
 - (※2) 学生本人及び生計維持者(原則父母)の直近の所得証明書により全員の市町村民税所得割額が0円で、かつ、学生本人及び生計維持者の資産の合計額が5,000万円未満である場合が対象です。
- ②令和8年4月に鳥取大学の修士(博士前期)課程に進学し、第一種奨学金の予約採用を申請した者

【申込方法】10/22(金)までに、以下の書類を提出してください。

提出書類	留意事項等
特に優れた業績による返還免除内定制度（修士・博士前期課程）申請書	別添の様式に必要な事項を記入のうえ提出してください。
(1) 奨学生証、スカラネットパーソナル画面コピーなど給付奨学金を受給していることがわかる書類 (2) ・本人と生計維持者(原則父母)全員の令和7年度所得課税証明書 ・資産の申告書（別添）	(2)は、(1)の提出ができない(給付奨学生でない)場合に提出してください。

（不備なく書類が提出された方に、その後の詳細な手続きをご案内します。）

【留意事項】

- ・申込後、学内及び日本学生支援機構での審査により内定者が決定されますので、申込をしても内定としない場合があります。
- ・内定となった場合でも、貸与終了時には返還免除の申請が必要です。また、免除額(全額または半額)も貸与終了時の審査結果により決まります。
- ・**修士(博士前期)課程の内定制度の申込は、進学時の予約採用募集時のみとなります**ので、対象要件を満たす希望者は必ず本募集により申込をしてください。

（参考）日本学生支援機構 HP

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>

ホーム>奨学金>在学中の手続き>特に優れた業績による返還免除制度について>

手続き（返還内定制度）>（修士課程及び専門職学位課程）返還免除内定制度

注意事項

- ・申込内容及び提出書類に虚偽の事実が判明した場合は、採用決定後でも採用を取り消します。
- ・提出された情報は、奨学金業務（返還業務を含む。）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、あなたの情報が日本学生支援機構、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。
- ・提出書類や申込内容の確認のため、学務支援システムの学籍情報に登録の電話番号、メールアドレスに連絡をする場合がありますので、その際は対応をお願いします。

【連絡・照会先・書類郵送先】

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地
鳥取大学学生部学生生活課奨学係

TEL 0857-31-6776・5059

E-mail st-syougaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

※米子地区は学務課学生係 0859-38-7100

※郵送は【簡易書留】【レターパック】等をご利用ください

修士（博士前期）課程進学予定で希望する者のみ

特に優れた業績による返還免除内定制度（修士・博士前期課程）申請書

太枠内のすべての項目を記入の上、日本学生支援機構奨学金【予約採用】申込時に併せて提出してください。

学生番号		氏名	
予約採用 申込で申請 する奨学金	確認のうえ、□に✓をしてください。 ☐ 第一種奨学金を申請する （第一種奨学金を申請していない場合は本制度に申請できません。）		
進学予定 研究科・ 専攻	該当する□いずれかに✓をしてください。 持続性社会創生科学研究科 ☐ 地域学 ☐ 工学 ☐ 農学 ☐ 国際乾燥地科学 医学系研究科 ☐ 医科学 ☐ 臨床心理学		
大学院 入試受験 状況	該当する□いずれかに✓のうえ（ ）内を記入してください。 ☐ 受験済み（受験番号： ） ☐ 受験予定（ 年 月 受験予定）		
JASSO 給付奨学金 受給状況	該当する□いずれかに✓をしてください。 （下記のいずれかに該当しない場合は本制度に申請できません。） ☐ 給付奨学金を受給している ※支援区分外により「停止中」の方は本制度に申請できません。 →スカネット・パーソナルの該当画面や給付奨学生証の備考欄を提出してください。 ☐ 学生本人及び生計維持者（原則父母2名）が住民税非課税である →全員の令和7年度所得・課税証明書と資産申告書を提出してください。		

【注意事項】

1. 本申請書は必ず【予約採用】申込時に併せて提出してください。予約採用申込期間以降の申請はできません。
2. 内定候補者となった場合でも、次のいずれかに該当した場合、その効力を失います。
 - ① 内定候補者に決定された者が、第一種奨学金に不採用となった場合
 - ② 申請した大学院と別の大学院に進学した場合
 - ③ 2年生進級時の中間評価において、内定者として相応しくないと確認された場合

本申請書提出後、スカラネットにより申込内容を入力しなければ申請完了とはなりません。

※「予約採用の奨学金申込」とは別にスカラネット入力が必要です。

資産の申告書

～修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定候補者の推薦について～

届出年月日

1. 本申告書の提出が必要な者

給付奨学金を受給していない住民税非課税世帯の学生等で、大学院修士課程又は専門職学位課程に進学を予定し返還免除内定制度への申請を希望している者

2. 学生等記入欄

返還免除内定制度の申請を希望する者は以下の太枠内を記入し、本申告書と所得証明書を進学予定先の大学へ提出してください。

基本情報

氏名	
生年月日	
進学予定先大学名	
進学予定先研究科名	

※以下の(1)～(2)のチェックボックスを記入してください。

(1)私と生計維持者(原則父母)の届出日時点の資産額の合計が5,000万円未満である。☐

資産の対象となるものは現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計(不動産は対象としない)です。

(2)私と生計維持者の直近の所得証明書を取得済である。☐

令和7年度の所得証明書は令和7年1月1日現在住民票登録のあった市区町村役場で発行されます。

3. 学校記入欄

学生等本人から本申告書と所得証明書を受け取った。☐

所得証明書で、学生等本人及び生計維持者の市区町村民税所得割が0円であることを確認した。☐

※要件を満たさない学生等本人を返還免除内定候補者として推薦した場合は、返還免除内定者として認定されません。

※学生等本人から提出された書類は本機構への提出は不要です。各大学において、適切に保管してください。